

「第1回 議会報告会」アンケート集計結果

平成24年5月20日開催

アンケート項目		回答	割合	
性別	男	58人	92%	
	女	5人	8%	
年齢	19歳以下	0人	0%	
	20～39歳	1人	1%	
	40～59歳	13人	21%	
	60～79歳	46人	73%	
	80歳以上	3人	5%	
議会報告会の内容に関して	議会報告会の開催については？	よかった	45人	71%
		どちらとも言えない	15人	24%
		分かりにくかった	3人	5%
	説明の内容について	よかった	18人	29%
		どちらとも言えない	29人	48%
		分かりにくかった	14人	23%
	説明時間について	ちょうどよかった	44人	75%
		短かった	9人	15%
		長かった	6人	10%
現在の市議会について	議会の役割について	果たしている	35人	58%
		どちらとも言えない	24人	39%
		果たしていない	2人	3%
	開かれた議会について	開かれている	29人	50%
		どちらとも言えない	27人	47%
		開かれていない	2人	3%
	議会への期待について	期待している	56人	90%
		どちらとも言えない	4人	7%
		期待していない	2人	3%

## ○ 各会場でアンケートに記載していただいた意見等

### ◇歴史文化伝承館

- ・ 初めての試みとしては良かった。もっと参加者がいるのかと思ってきたが、せつかくの企画なのにもったいないと感じた。普段、なかなか市議会を聴く機会がないので参加してよかった。良い意見、情報が聞けた。
- ・ 議会報告会開催の目的、今後の対応、何故開催が今なのか、説明が必要。
- ・ 各委員会からの活動は資料参照とし、主として各委員会が主点としている内容を説明するべき。
- ・ 住民との対話形式は必ず必要。“生の声”を市政に反映してほしい。
- ・ 今後の充実発展を期待する。
- ・ 情報公開が進んでいる昨今、議員（議会）を通じての情報は意味が薄れている。その現状を踏まえ新たな対応を。
- ・ 市役所本庁舎建設問題で市民会議が設置されたが、本来は議員がその任を担うべき。（議会の存在が薄くなってしまう。）
- ・ 議会の1年間の内容がよくわかった。
- ・ 選挙後、初めて顔を合わせる様な議員活動では期待できない。秩父市をどうするかという展望と志が全然感じなかった。地方自治の精神で秩父独自の政治力を発揮してもらいたい。
- ・ とても良かった。
- ・ このような報告会を適時開催すると議会と市民との連携がスムーズに行くきっかけとなる。次回も参加したい。
- ・ 質疑応答時間を長くとってもらって良かった。
- ・ 災害に関する提案がほしい。ダム決壊の際のシミュレーション、山崩れ、土砂、雨対策など。

- ・ 報告内容が大雑把で十分に理解できなかった。さらに充実させてほしい。
- ・ 市政の重要な案件（市庁舎市民会館の解体・建設、火葬場老朽化対策など）について詳しい報告がされたら良かった。
- ・ 説明資料が項目を並べたもので不十分
- ・ 広報でしか知らされていないことが多いので、報告会を今後も開催してほしい。
- ・ 初回であり、参加者が少ないが継続して行ってほしい。
- ・ もっと多くの出席を考えていた。市民の関心のなさが自分たちを低下させている。義務と権利を市民にしっかり考えてほしい。
- ・ 宣伝不足ではないか。
- ・ 議会に期待していくことが、市民としては当たり前。
- ・ 国会議員とは違うのだから、日頃から各地域の住民と意見交換を行って、それぞれ具体的内容を報告してほしい。情報公開も少ない。
- ・ 新庁舎建設も引受会社も決定前に市民に公開してほしい。
- ・ 各委員会で全て「原案可決」、これでは議員は要らないのではないか。
- ・ 議請第 12 号は、本会議「不採択」。具体的に議員は報告するのが最低限の仕事ではないか。
- ・ 秩父自治に対してどう考えているのか伝わらなかった。
- ・ クリーンセンター建設時の不正（入札での談合問題）についても全市民に報告することが当たり前（インターネットのみはおかしい）。
- ・ 議請第 12 号の公的年金の切り下げについては、委員会では採択されたのに本会議で不採択になるのはおかしいと思う。だが、不採択という結果については、年金受給者に対する思いやりだと思うので、敬意を表したい。

## ◇吉田やまなみ会館

- 資料と説明の関連性が一部良くわからなかった。
- 日程の都合もあるが、出席しやすい夜間とかに実施していただければ、もう少し参加者も増えると思います。
- 生活産業、文教福祉委員会 口頭での説明であったので、記録が大変であったのでは。

できれば、主だった内容を掲載いただければ助かります。本日はありがとうございます。

- 出席者は少ないのは気にしなくてもよいと考えるが、あまり関心がないのか？あまり問題がないのか？とも思います。これからもガンバッテ下さい。
- 開催の周知の方法を考えるべきだと思う。多くの方が参加するような方策を考える。
- 一般市民は通常不案内なので内容について、もう少し具体的な簡明に説明がないと判りにくい、数字を聞いても良く判らない、資料についても詳細に知りたい。

#### ◇荒川農村環境改善センター

- 議会（委員会）報告においては、実際にどのような意見がかわされたのか、出された意見を報告してほしい。
- 誰にでもわかるような資料にしてほしい。報告会に来た人だけが知る権利があるような資料でもいいと思う。
- 町会へのコミュニティ会議は年4回開催されているので、この報告会も今回をスタートに年数回行う市民と議会を結ぶ報告会になるよう希望する。
- 数値がない説明があり良否の判断ができない。
- なぜ議案が提案されるのか、一般の人にその背景をわかりやすく説明する必要がある。議員も慣れれば説明がうまくなるので、報告会の回数を重ねてほしい。質疑に関し検討し、意見をうかがい議会活動に活用、反映されたい。
- 議案とその結果の説明だけでなく、現在市が課題としている点は何か、それに対し市議会ではどのように取組んでいるのか等も報告したほうがよい。
- 市議会だよりに載らない事項を報告してほしい。
- せっかく多数の議員が一同にいるので、市民から要求を聞く公開された場としても位置づけがあればいいと思う。報告会を知らない人が多すぎるので、もっと広く呼びかけが必要でないか。
- もっと詳しい資料を作ったほうがいいと思う。発表する内容の資料がないとわかりにくいと思う。